

医療薬学専攻（博士課程）授業科目履修例

授業科目の概要	授業科目の名称		単位数	例 1	例 2	
	専門	(医療分子薬学分野)				
		天然薬物作用学特論		2	○	
		生態機能化学特論		2	○	
		環境衛生学特論		2	○	
		免疫細胞情報学特論		2		○
	科目	(医療機能薬学分野)				
		病原微生物学特論		2		○
		化学療法学特論		2		○
		医療薬剤学特論		2	○	
神経薬理学特論		2		○		
特別研究	疾患病態治療学特論		2		○	
	薬学特別研究		1 2	○	○	
特別演習	医療分子薬学特別演習		8	○		
	医療機能薬学特別演習		8		○	
合計修得単位				3 0	3 0	
修了後の進路			医療機関研究所 研究員・製薬企業 研究員・薬系大学 教員・海外大学博 士研究員・公務員	病院薬剤部主任・ 医療機関主任研 究員・薬系大学教 員・学術員・海外 医療機関職員		

例 1：本事例では、医療分子薬学分野に所属し、天然薬物作用学の特別研究を選択し、専門科目の天然薬物作用学特論を補完し、基礎的かつ包括的知識を修得するため、専攻内の専門科目をさらに 4 教科を選択する。また、創造力、実践力、語学力等の基礎知識と応用力を養うために医療分子薬学特別演習を修得する。特別研究においては「植物由来食品成分の生体機能調節作用の解析」のテーマを設定し、テーマ関連の先端的研究の現状について口頭発表形式による報告と質疑応答を医療分子薬学特別演習として定期的実施し、合計修得単位数 30 単位を修得する。

例 2：本事例では、医療機能薬学分野に所属し、神経薬理学の特別研究を選択し、専門科目の神経薬理学特論を補完し、基礎的かつ包括的知識を修得するため、専攻内の専門科目をさらに 4 教科を選択する。また、創造力、実践力、語学力等の基礎知識と応用力を養うために医療機能薬学特別演習を修得する。特別研究においては「中枢神経系薬物の作用機序の研究」のテーマを設定し、テーマ関連の先端的研究の現状について口頭発表形式による報告と質疑応答を医療機能薬学特別演習として定期的実施し、合計修得単位数 30 単位を修得する。